

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-278392

(P2009-278392A)

(43) 公開日 平成21年11月26日(2009.11.26)

(51) Int.Cl.		F I				テーマコード (参考)
HO 4 N	5/76	(2006.01)	HO 4 N	5/76	B	5 C 0 5 2
HO 4 N	5/225	(2006.01)	HO 4 N	5/225	F	5 C 0 5 3
HO 4 N	5/91	(2006.01)	HO 4 N	5/91	J	5 C 1 2 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2008-127906 (P2008-127906)	(71) 出願人	000001443
(22) 出願日	平成20年5月15日 (2008.5.15)		カシオ計算機株式会社
			東京都渋谷区本町1丁目6番2号
		(74) 代理人	100090033
			弁理士 荒船 博司
		(74) 代理人	100093045
			弁理士 荒船 良男
		(72) 発明者	形川 浩靖
			東京都羽村市栄町3丁目2番1号 カシオ
			計算機株式会社羽村技術センター内
		Fターム(参考)	5C052 AA17 AC08 DD02
			5C053 FA08 FA27 GB06 HA29 JA30
			LA02
			5C122 DA04 EA42 FH14 FK38 GA09
			HA29 HB01

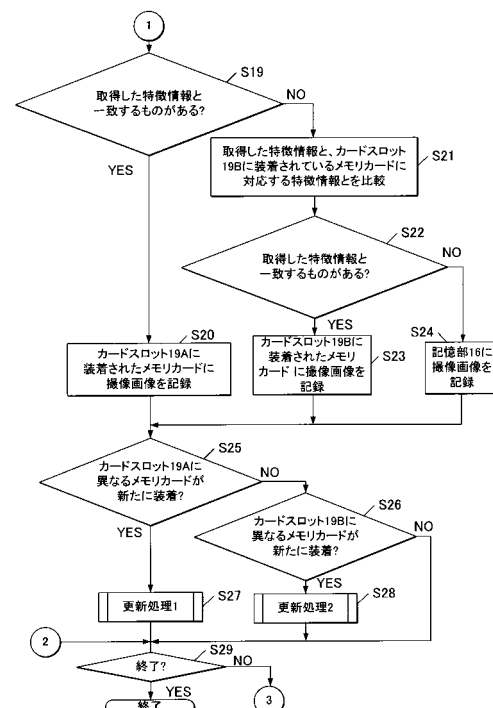
(54) 【発明の名称】 撮像装置、プログラム

(57) 【要約】

【課題】撮影された被写体に応じて、撮像画像を記録媒体に容易に分類すること。

【解決手段】複数のメモリカード C 1、C 2 に記録されている人物被写体像の中に、撮像部 1 8 により取得された人物被写体像と一致するものがあるか否かを判断し、一致するものがあると判断された場合に、撮像部 1 8 により取得された人物被写体像を、当該人物被写体像と一致する人物被写体像を記録しているメモリカードの方に記録させる。

【選択図】図 4



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

被写体像を取得する撮像手段と、
特定の被写体像をそれぞれ記録した複数の記録媒体と、
前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する第 1 の判断手段と、
前記第 1 の判断手段により一致するものがあると判断された場合に、前記撮像手段により取得された被写体像を、当該被写体像と一致する前記特定の被写体像を記録している前記記録媒体に記録させる記録制御手段と、
を備えることを特徴とする撮像装置。

10

【請求項 2】

前記複数の記録媒体に記憶されている前記特定の被写体像から特徴情報を取得する第 1 の取得手段と、
前記撮像手段により取得された被写体像から前記特徴情報を取得する第 2 の取得手段と、
を備え、
前記第 1 の判断手段は、
前記第 1 の取得手段により取得された特徴情報と、前記第 2 の取得手段により取得された特徴情報とが一致するか否かを判断することにより、前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する、
ことを特徴とする請求項 1 記載の撮像装置。

20

【請求項 3】

前記複数の記録媒体をそれぞれ装着する装着手段と、
前記装着手段に予め装着されていた第 1 の記録媒体に代えて、当該第 1 の記録媒体と異なる第 2 の記録媒体が、前記装着手段に装着されたか否かを判断する第 2 の判断手段と、
を備え、
前記第 1 の判断手段は、
前記第 2 の判断手段により前記第 2 の記録媒体が前記装着手段に装着されたと判断された場合、前記第 2 の記録媒体を含む前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する、
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の撮像装置。

30

【請求項 4】

前記第 1 の取得手段は、
前記第 2 の判断手段により前記第 2 の記録媒体が前記装着手段に装着されたと判断された場合、前記第 2 の記録媒体に記憶されている特定の被写体像から前記特徴情報を取得する、
ことを特徴とする請求項 3 記載の撮像装置。

【請求項 5】

被写体像を取得する撮像手段と、特定の被写体像をそれぞれ記録した複数の記録媒体と、
を有する撮像装置のコンピュータを、
前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する判断手段、
前記判断手段により一致するものがあると判断された場合に、前記撮像手段により取得された被写体像を、当該被写体像と一致する前記特定の被写体像を記録している前記記録媒体に記録させる記録制御手段、
として機能させるためのプログラム。

40

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

50

本発明は、複数の記録媒体を装着する撮像装置、プログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

従来、複数の記録媒体に撮像画像を記録できる撮像装置が知られている。例えば、特許文献1には、静止画の記録モードが選択された場合には、小容量の記録媒体に撮像画像を記録し、動画の記録モードが選択された場合には、大容量の記録媒体に撮像画像を記録する撮像装置が開示されている。

【特許文献1】特開2004-229172号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

10

【0003】

しかしながら、上述の従来の撮像装置は、記録モードに応じて撮像画像を各記録媒体に分類しているだけである。そのため、ユーザが、被写体に応じて、撮像画像を複数の記録媒体に分類したい場合、撮影画像の分類作業を手動で行う必要があり、手間を要するという問題があった。

【0004】

そこで、本発明の目的は、被写体に応じて、撮像画像を複数の記録媒体に容易に分類することができる撮像装置、プログラムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

20

上記課題を解決するため、請求項1に記載の撮像装置は、
被写体像を取得する撮像手段と、

特定の被写体像をそれぞれ記録した複数の記録媒体と、

前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する第1の判断手段と、

前記第1の判断手段により一致するものがあると判断された場合に、前記撮像手段により取得された被写体像を、当該被写体像と一致する前記特定の被写体像を記録している前記記録媒体に記録させる記録制御手段と、

を備えることを特徴とする。

【0006】

30

請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の撮像装置において、

前記複数の記録媒体に記憶されている前記特定の被写体像から特徴情報を取得する第1の取得手段と、

前記撮像手段により取得された被写体像から前記特徴情報を取得する第2の取得手段と、
を備え、

前記第1の判断手段は、

前記第1の取得手段により取得された特徴情報と、前記第2の取得手段により取得された特徴情報とが一致するか否かを判断することにより、前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断することを特徴とする。

40

【0007】

請求項3に記載の発明は、請求項1又は2に記載の撮像装置において、

前記複数の記録媒体をそれぞれ装着する装着手段と、

前記装着手段に予め装着されていた第1の記録媒体に代えて、当該第1の記録媒体と異なる第2の記録媒体が、前記装着手段に装着されたか否かを判断する第2の判断手段と、
を備え、

前記第1の判断手段は、

前記第2の判断手段により前記第2の記録媒体が前記装着手段に装着されたと判断された場合、前記第2の記録媒体を含む前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する

50

ことを特徴とする。

【 0 0 0 8 】

請求項 4 に記載の発明は、請求項 3 に記載の撮像装置において、

前記第 1 の取得手段は、

前記第 2 の判断手段により前記第 2 の記録媒体が前記装着手段に装着されたと判断された場合、前記第 2 の記録媒体に記憶されている特定の被写体像から前記特徴情報を取得することを特徴とする。

【 0 0 0 9 】

請求項 5 に記載の発明のプログラムは、

被写体像を取得する撮像手段と、特定の被写体像をそれぞれ記録した複数の記録媒体と、を有する撮像装置のコンピュータを、

前記複数の記録媒体に記録されている特定の被写体像の中に、前記撮像手段により取得された被写体像と一致するものがあるか否かを判断する判断手段、

前記判断手段により一致するものがあると判断された場合に、前記撮像手段により取得された被写体像を、当該被写体像と一致する前記特定の被写体像を記録している前記記録媒体に記録させる記録制御手段として機能させることを特徴とする。

【発明の効果】

【 0 0 1 0 】

本発明によれば、被写体に応じて、撮像画像を複数の記録媒体に容易に分類することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 1 1 】

本発明に係る実施の形態を説明する。先ず、図 1 及び図 2 を参照して、撮像装置 1 の構成を示す。

【 0 0 1 2 】

図 1 は撮像装置 1 の概略構成を示した図である。図 1 に示す撮像装置 1 は、シャッターキー 1 4 A と、メニューキー 1 4 B と、セットキー 1 4 C と、表示部 1 5 と、カードスロット 1 9 A , 1 9 B と、を備えて構成される。

【 0 0 1 3 】

シャッターキー 1 4 A は、画像を撮像するためのキーである。メニューキー 1 4 B は、撮像装置 1 の各種設定を行うためのメニュー画面を表示させるためのキーである。セットキー 1 4 C は、表示部 1 5 に表示させる各種情報を変更するためのキーである。表示部 1 5 、カードスロット 1 9 A 、カードスロット 1 9 B については、後述する。

【 0 0 1 4 】

次に、図 2 を参照して、撮像装置 1 の内部構成を説明する。図 2 に示すように、撮像装置 1 は、CPU 1 1 と、ROM 1 2 と、RAM 1 3 と、操作部 1 4 と、表示部 1 5 と、記憶部 1 6 と、通信部 1 7 と、撮像部 1 8 と、カードスロット 1 9 A 、カードスロット 1 9 B とを備えて構成され、各部はバス 2 0 により接続されている。

【 0 0 1 5 】

操作部 1 4 はシャッターキー 1 4 A 、メニューキー 1 4 B 、セットキー 1 4 C 等で構成されている。カードスロット 1 9 A 、1 9 B には、それぞれ記録媒体としてのメモリカード C 1 、メモリカード C 2 が装着されている。メモリカード C 1 には、人物 A 、人物 B 、人物 C の撮像画像が予め記録されている。メモリカード C 2 には、人物 D 、人物 E 、人物 F の撮像画像が予め記録されている。

【 0 0 1 6 】

ROM 1 2 は、CPU 1 1 の動作の動作に必要な各種プログラム及び各種データを記憶している。

【 0 0 1 7 】

CPU 1 1 は、ROM 1 2 に記憶されているプログラムやデータを RAM 1 3 に展開する。CPU 1 1 は、このプログラムとの協働により各種動作を実行する。

【 0 0 1 8 】

R A M 1 3 は、プログラムを展開するためのプログラムエリア、操作部 1 4 から入力されるデータや C P U 1 1 による各種処理結果などを保存するためのデータエリアなどを形成するワーキングメモリである。

【 0 0 1 9 】

操作部 1 4 は、シャッタキー 1 4 A、メニューキー 1 4 B、セットキー 1 4 C などの各種キーを備えて、さらに表示部 1 5 と一体となったタッチパネル部を備える。そして、これらのキーなどが入力された場合には、その入力信号を C P U 1 1 へ出力する。

【 0 0 2 0 】

表示部 1 5 は、液晶表示する液晶ディスプレイと、その表示制御部などで構成されている。表示部 1 5 は、撮像時に電子ファインダとして機能し、撮像部 1 8 により撮像されて出力された撮像画像がビデオ信号に変換されて、スルー画像としてライブビュー表示される。

10

【 0 0 2 1 】

記憶部 1 6 は、ハードディスク、半導体メモリ等により構成され、各種データを記憶する。

【 0 0 2 2 】

通信部 1 7 は、赤外線通信、コネクタ通信及び無線 L A N 通信方式などにより、画像データなどのデータを外部機器と送受信する。

【 0 0 2 3 】

撮像部 1 8 は、撮像レンズなどの光学系と、C C D (Charge Coupled Device) などの撮像素子と、撮像素子から出力された画像を画像処理する画像処理部とを備える。撮像レンズなどの光学系を介して入射された被写体の像の光束が撮像素子に入射され、その撮像素子から画像データの電気信号として出力され、その電気信号が画像処理部によりデジタル化処理、画素補完処理、γ補正処理などを含む画像処理が施されて、デジタルの画像データとして出力される。

20

【 0 0 2 4 】

カードスロット 1 9 A は、メモリカード C 1 を着脱自在に装着し、C P U 1 1 から入力される指示に応じてメモリカード C 1 内に記録されている各画像における被写体の画像情報を読み出す。また、カードスロット 1 9 B は、1 9 A と同様の構成である。

30

【 0 0 2 5 】

次に、撮像装置 1 において実行される第 1 の自動分類記録処理について説明する。第 1 の自動分類記録処理は、撮像により生成した被写体の画像の記録先を、被写体に応じて、メモリカード C 1 又はメモリカード C 2 に自動的に振り分ける処理である。

【 0 0 2 6 】

ユーザにより所定の指示が操作部 1 4 を介して入力されると、C P U 1 1 は、R O M 1 2 から読み出されて R A M 1 3 に展開されたプログラムとの協働により、図 3 及び図 4 のフローチャートに示す第 1 の自動分類記録処理を実行する。

【 0 0 2 7 】

まず、撮像部 1 8 を介して被写体のライブビュー画像であるスルー画像が取得され (ステップ S 1 1)、取得されたスルー画像が表示部 1 5 に表示される。そして、カードスロット 1 9 A に装着されたメモリカード C 1 に対応する特徴情報を、記憶部 1 6 に記憶させるための登録処理 1 が実行される (ステップ S 1 2)。

40

【 0 0 2 8 】

ここで、図 5 を参照して、登録処理 1 について説明する。

まず、カードスロット 1 9 A に装着されたメモリカード (メモリカード C 1) に記録されている各画像中の各人物被写体像が検出される (ステップ S 3 1)。例えば、一般的な人物のテンプレート画像を予め R O M 1 2 に記憶させておき、このテンプレート画像と一致度の高い画像領域を人物被写体像として検出する。

【 0 0 2 9 】

50

そして、検出された人物被写体像ごとに特徴情報が取得される（ステップ S 3 2）。この特徴情報の取得に際しては、ステップ S 3 1において検出された各人物被写体像のデータから、所定の輝度情報や輝度分布情報等が特徴情報として取得される。無論、周知のアイリスデータ取得技術や認識技術を用いて、人物被写体像における瞳の輝度分布情報であるアイリスデータが特徴情報として取得されるようにしてもよい。

【 0 0 3 0 】

そして、検出された特徴情報が、カードスロット 1 9 A に装着されたメモリカード（メモリカード C 1）に対応する各特徴情報として、記憶部 1 6 に記憶される（ステップ S 3 3）。図 9 に示すように、人物 A、人物 B、人物 C の被写体像が、メモリカード C 1 に記録されている。この場合、人物 A、人物 B、人物 C のそれぞれの特徴情報が、メモリカード C 1 に対応する各特徴情報として記憶部 1 6 に記憶される。

10

【 0 0 3 1 】

図 3 に戻り、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 2 に対応する特徴情報を、記憶部 1 6 に記憶させるための登録処理 2 が実行される（ステップ S 1 3）。

【 0 0 3 2 】

ここで、図 6 を参照して、登録処理 2 を説明する。

まず、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 2 に記録されている各画像中の各人物被写体像が、ステップ S 3 1 における処理と同様にして検出される（ステップ S 3 4）。そして、検出された人物被写体像ごとに特徴情報が、ステップ S 3 2 における処理と同様にして取得される（ステップ S 3 5）。

20

【 0 0 3 3 】

そして、検出された特徴情報が、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 2 に対応する各特徴情報として、記憶部 1 6 に記憶される（ステップ S 3 6）。図 9 に示すように、人物 D、人物 E、人物 F の被写体像が、メモリカード C 2 に記録されている。この場合、人物 D、人物 E、人物 F のそれぞれの特徴情報が、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード（メモリカード C 2）に対応する各特徴情報として、記憶部 1 6 に記憶される。

【 0 0 3 4 】

図 3 に戻り、シャッターキー 1 4 A の 1 回目の押下により発生する 1 回目の撮像指示を検知したか否かが判断される（ステップ S 1 4）。ステップ S 1 4 において、1 回目の撮像指示を検知していないと判断された場合（ステップ S 1 4；NO）、ステップ S 2 9 へと処理を進める。

30

【 0 0 3 5 】

一方、ステップ S 1 4 において、1 回目の撮像指示を検知したと判断された場合（ステップ S 1 4；YES）、撮像部 1 8 の撮像素子に結像された被写体の画像に対し各種の画像処理が施されて、1 枚目の撮像画像としての 1 枚目の画像データが取得される（ステップ S 1 5）。

【 0 0 3 6 】

そして、ステップ S 1 5 において取得された 1 枚目の撮像画像から、ステップ S 3 1 における処理と同様にして人物被写体像が検出され（ステップ S 1 6）、検出された人物被写体像から、ステップ S 3 2 における処理と同様にして特徴情報（輝度情報等）が取得される（ステップ S 1 7）。

40

【 0 0 3 7 】

そして、1 枚目の撮像画像から取得された特徴情報（ステップ S 1 7 において取得された特徴情報）と、記憶部 1 6 に記憶されているカードスロット 1 9 A に装着されたメモリカード（メモリカード C 1）に対応する各特徴情報とが比較がされる（ステップ S 1 8）。

【 0 0 3 8 】

引き続き、図 4 を参照して説明を続ける。ステップ S 1 8 における比較の結果、1 枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、記憶部 1 6 に記憶されているメモ

50

リカード C 1 に対応する各特徴情報中にあるか否かを判断される (ステップ S 1 9)。一致するものがあると判断された場合 (ステップ S 1 9 ; Y E S)、カードスロット 1 9 A に装着されたメモリカード C 1 に、1 枚目の撮像画像が記録される (ステップ S 2 0)。

【 0 0 3 9 】

例えば、図 1 0 に示すように、ステップ S 1 5 において、人物 A が写っている 1 枚目の撮像画像が取得されたとする。この場合、1 枚目の撮影画像は、2 つのメモリカード C 1、メモリカード C 2 のうち、人物 A を含む撮像画像を元々記録しているメモリカード C 1 の方に自動的に記録される。

【 0 0 4 0 】

一方、ステップ S 1 9 において、一致するものがないと判断された場合 (ステップ S 1 9 ; N O)、つまり、1 枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、記憶部 1 6 に記憶されているメモリカード C 1 に対応する各特徴情報中にない場合、ステップ S 2 1 へと処理を進める。

【 0 0 4 1 】

引き続き、ステップ S 1 7 において取得された特徴情報と、記憶部 1 6 に記憶されているカードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード (メモリカード C 2) に対応する各特徴情報とが比較がされる (ステップ S 2 1)。

【 0 0 4 2 】

この比較の結果、1 枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、記憶部 1 6 に記憶されているメモリカード C 2 に対応する各特徴情報中にあるか否かが判断される (ステップ S 2 2)。一致するものがあると判断された場合 (ステップ S 2 2 ; Y E S)、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 2 に、1 枚目の撮像画像が記録される (ステップ S 2 3)。

【 0 0 4 3 】

例えば、図 1 1 に示すように、ステップ S 1 5 において、人物 D が写っている 1 枚目の撮像画像が取得されたとする。この場合、1 枚目の撮影画像は、2 つのメモリカード C 1、メモリカード C 2 のうち、人物 D を含む撮像画像を元々記録しているメモリカード C 2 の方に記録される。ステップ S 2 3 の実行後、後述するステップ S 2 5 へと処理を進める。

【 0 0 4 4 】

一方、ステップ S 2 2 において、一致するものがないと判断された場合 (ステップ S 2 2 ; N O)、記憶部 1 6 に 1 枚目の撮像画像が記録される (ステップ S 2 4)。

【 0 0 4 5 】

そして、ステップ S 2 0、ステップ S 2 3、ステップ S 2 4 の実行後、カードスロット 1 9 A に装着されているメモリカードが変更されたか否かが判断される (ステップ S 2 5)。

【 0 0 4 6 】

ステップ S 2 5 においては、ステップ S 3 1、S 3 2 における処理と同様にして、この時点で、カードスロット 1 9 A に装着されているメモリカードに記録されている各画像中の各人物被写体像の特徴情報が取得される。そして、取得された特徴情報と、記憶部 1 6 に記憶されているメモリカード C 1 に対応する特徴情報とを比較する。比較の結果、取得された特徴情報が、メモリカード C 1 に対応する特徴情報と異なっている場合に、カードスロット 1 9 A に装着されているメモリカードが変更されたと判断される。つまり、カードスロット 1 9 A に、メモリカード C 1 とは異なるメモリカード (以下、メモリカード C 3 とする) が装着されたと判断される。

【 0 0 4 7 】

ステップ S 2 5 において、カードスロット 1 9 A されているメモリカードが、メモリカード C 3 へと変更されたと判断された場合 (ステップ S 2 5 ; Y E S)、カードスロット 1 9 A に新たに装着されたメモリカード C 3 に記録されている人物被写体像の特徴情報を更新登録するための更新処理 1 が実行される (ステップ S 2 7)。

10

20

30

40

50

【 0 0 4 8 】

ここで、図 7 を参照して、更新処理 1 について説明する。

先ず、カードスロット 1 9 A に新たに装着されたメモリカード C 3 に記録されている各画像中の各人物被写体像が、ステップ S 3 1 における処理と同様にして検出される（ステップ S 4 1）。メモリカード C 3 には、人物 G、人物 H、人物 I の撮影画像が予め記録されているものとする。そして、検出された人物被写体像ごとに特徴情報が、ステップ S 3 2 における処理と同様にして取得される（ステップ S 4 2）。

【 0 0 4 9 】

そして、検出された特徴情報が、メモリカード C 3 に対応する各特徴情報として、記憶部 1 6 に更新登録される（ステップ S 4 3）。つまり、記憶部 1 6 において、メモリカード C 1 に対応する各特徴情報が消去され、メモリカード C 3 に対応する各特徴情報が新たに記憶される。ステップ S 4 3 の実行後、図 3 に戻り、ステップ S 2 9 へと処理を進める。

10

【 0 0 5 0 】

一方、ステップ S 2 5 において、カードスロット 1 9 A に装着されているメモリカードが変更されていないと判断された場合（ステップ S 2 5；NO）、ステップ S 2 6 へと処理を進める。ステップ S 2 6 においては、ステップ S 2 5 と同様にして、カードスロット 1 9 B に装着されているメモリカードが変更されたか否かが判断される（ステップ S 2 6）。つまり、カードスロット 1 9 B に、メモリカード C 2 とは異なるメモリカード（以下、メモリカード C 4 とする）が新たに装着されているか否かが判断される。

20

【 0 0 5 1 】

ステップ S 2 6 において、カードスロット 1 9 B にメモリカード C 4 が装着されたと判断された場合（ステップ S 2 6；YES）、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 4 に記録された人物被写体像を更新登録するための更新処理 2 が実行される（ステップ S 2 8）。

【 0 0 5 2 】

ここで、図 8 を参照して、更新処理 2 を説明する。

先ず、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 4 に記録されている各画像中の各人物被写体像が、ステップ S 3 1 における処理と同様にして検出される（ステップ S 4 4）。そして、検出された人物被写体像ごとに特徴情報が、ステップ S 3 2 における処理と同様にして取得される（ステップ S 4 5）。

30

【 0 0 5 3 】

そして、検出された特徴情報が、カードスロット 1 9 B に装着されたメモリカード C 4 に対応する各特徴情報として、記憶部 1 6 に更新記憶される（ステップ S 4 6）。つまり、記憶部 1 6 において、メモリカード C 2 に対応する各特徴情報が消去され、メモリカード C 4 に対応する各特徴情報が新たに記憶される。ステップ S 4 6 の実行後、図 3 に戻り、ステップ S 2 9 へと処理を進める。

【 0 0 5 4 】

一方、ステップ S 2 6 において、メモリカード C 4 が新たに装着されていないと判断された場合（ステップ S 2 6；NO）、ステップ S 2 9 へと処理を進める。

40

【 0 0 5 5 】

ステップ S 2 9 においては、操作部 1 4 を介して受け付けられた所定の指示に基づいて、第 1 の自動分類記録処理が終了されると判断される。第 1 の自動分類記録処理が終了されないと判断された場合（ステップ S 2 9；NO）、再びステップ S 1 4 へと処理を進める。

【 0 0 5 6 】

図 3 に戻り、ステップ S 1 4 において、シャッターキー 1 4 A の 2 回目の押下により発生する 2 回目の撮像指示が検知された場合（ステップ S 1 4；YES）、2 枚目の撮像画像が取得され（ステップ S 1 5）、取得された 2 枚目の撮像画像から人物被写体像が検出され（ステップ S 1 6）、検出された人物被写体像から特徴情報が取得される（ステップ S

50

17)。

【0057】

そして、2枚目の撮像画像から取得された特徴情報と、記憶部16に記憶されているカードスロット19Aに装着されたメモリカード(メモリカードC1又はメモリカードC3)に対応する各特徴情報とが比較がされる(ステップS18)。

【0058】

引き続き、図4を参照して説明を続ける。ステップS18における比較の結果、2枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、記憶部16に記憶されているメモリカードに対応する各特徴情報中にあるか否かが判断される(ステップS19)。

【0059】

ここで、カードスロット19Aに装着されているメモリカードが、メモリカードC1からメモリカードC3へと変更されている場合、ステップS19においては、2枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、メモリカードC3に対応する各特徴情報中にあるか否かが判断される。

【0060】

カードスロット19AにメモリカードC3が装着されている場合において、2枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、メモリカードC3に対応する各特徴情報中にあると判断された場合(ステップS19; YES)、カードスロット19Aに装着されたメモリカードC3に、2枚目の撮像画像が記録される(ステップS20)。

【0061】

例えば、カードスロット19AにメモリカードC3が装着されている場合に、ステップS15において、人物Gが写っている2枚目の撮像画像が取得されたとする。この場合、2枚目の撮像画像は、2つのメモリカードC3,メモリカードC2のうち、人物Gを含む撮像画像を元々記録しているメモリカードC3の方に自動的に記録される。

【0062】

一方、ステップS19において、一致するものがないと判断された場合(ステップS19; NO)、つまり、1枚目の撮像画像から取得された特徴情報と一致するものが、記憶部16に記憶されているメモリカードC1に対応する各特徴情報中にない場合、ステップS21へと処理を進める。

【0063】

例えば、カードスロット19AにメモリカードC3が装着されている場合に、図12に示すように、ステップS15において、人物Aが写っている2枚目の撮像画像が取得されたとする。この場合、2つのメモリカードC3には、人物Aを含む撮像画像が元々記録されていないので、2枚目の撮像画像は、メモリカードC3に記録されない。

【0064】

引き続き、ステップS21からS29の再度繰り返す。

【0065】

そして、ステップS29において、第1の自動分類記録処理が終了すると判断された場合(ステップS29; NO)、CPU11は、図3及び図4に示されるフローチャートに従う動作を終了する。

【0066】

以上説明したように、本実施の形態によれば、メモリカードC1, C2に予め記録されている画像の中に、撮影により得られた撮像画像と一致するものがある場合、当該撮像画像と一致する画像を予め記録しているメモリカードの方に撮像画像を自動的に記録させた。これにより、ユーザは、被写体に応じて、撮像画像を複数の記録媒体に容易に分類することができる。

【0067】

また、本実施の形態によれば、各カードスロットに装着される各メモリカードが変更された場合に、各カードスロットに装着される各メモリカードに対応する特徴情報を更新登録した。これにより、記録媒体であるメモリカードが変更されても臨機応変に対応して、

10

20

30

40

50

被写体に応じて、撮像画像を多数の用途の記録媒体に容易に分類することができる。

【 0 0 6 8 】

また、上記実施の形態では、メモリカードを2つ備える場合やメモリカードを1つ備える場合について説明した。しかし、3個以上の複数のメモリカードを備える構成としてもよい。この場合、撮像された被写体に応じて、撮像画像の記録先を3個以上のメモリカードから決定することとなる。

【 0 0 6 9 】

また、上記実施の形態では、撮像された被写体の特徴情報と、記憶部16予め記憶されているいずれかの特徴情報とが一致する場合、撮像画像を記憶部16に記憶することなく、メモリカードに記録することとした。しかし、一度撮像された撮像画像を一旦記憶部16に記憶した後、撮像された被写体をメモリカードに記録することとしてもよい。

10

【 0 0 7 0 】

本発明は、上記実施の形態に限定されるものではない。上記の実施の形態における撮像装置1の細部構成及び詳細動作に関しては、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で適宜変更可能である。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 7 1 】

【 図 1 】 本発明に係る第1の実施の形態における撮像装置を示す概略図である。

【 図 2 】 本発明に係る第1の実施の形態における撮像装置の内部構成を示すブロック図である。

20

【 図 3 】 第1の自動分類記録処理の流れを示すフローチャートである。

【 図 4 】 第1の自動分類記録処理の流れを示すフローチャートである。

【 図 5 】 登録処理1の流れを示すフローチャートである。

【 図 6 】 登録処理2の流れを示すフローチャートである。

【 図 7 】 更新処理1の流れを示すフローチャートである。

【 図 8 】 更新処理2の流れを示すフローチャートである。

【 図 9 】 メモリカードに記録されている被写体の例を示す図である。

【 図 1 0 】 撮像された被写体をメモリカードに記録することを説明する図である。

【 図 1 1 】 撮像された被写体をメモリカードに記録することを説明する図である。

【 図 1 2 】 撮像された被写体をメモリカードに記録しないことを説明する図である。

30

【 符号の説明 】

【 0 0 7 2 】

1 撮像装置

1 1 C P U

1 2 R O M

1 3 R A M

1 4 操作部

1 5 表示部

1 6 記憶部

1 7 通信部

1 8 撮像部

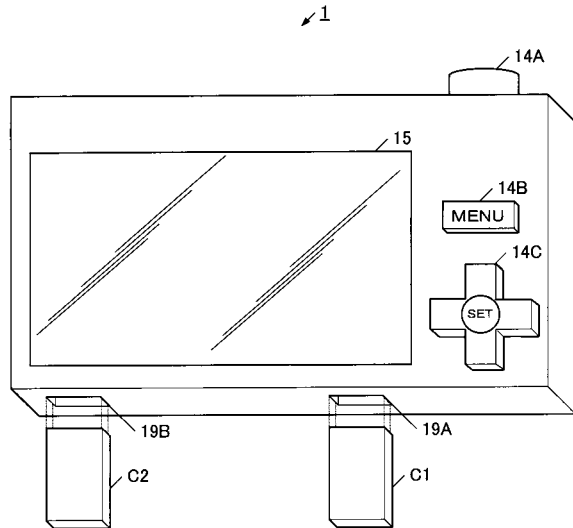
1 9 A カードスロット

1 9 B カードスロット

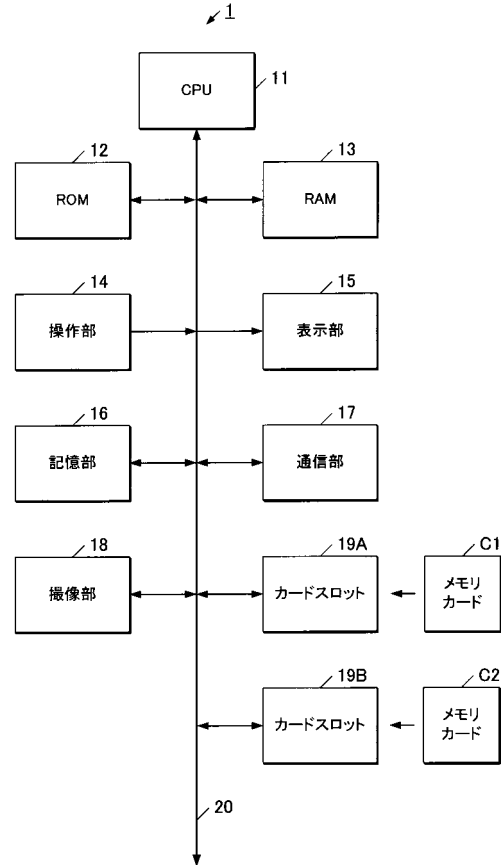
2 0 バス

40

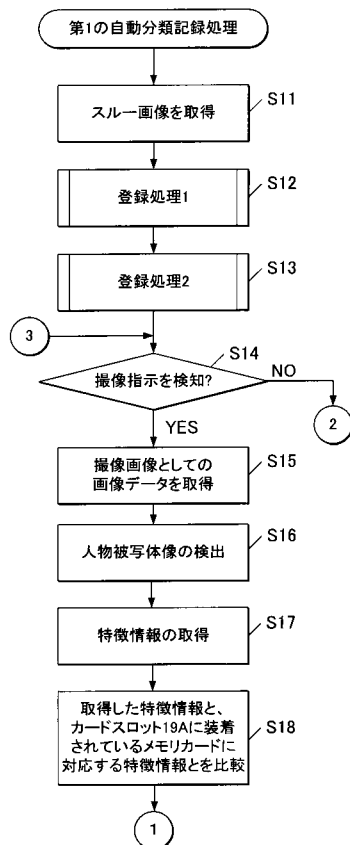
【図 1】



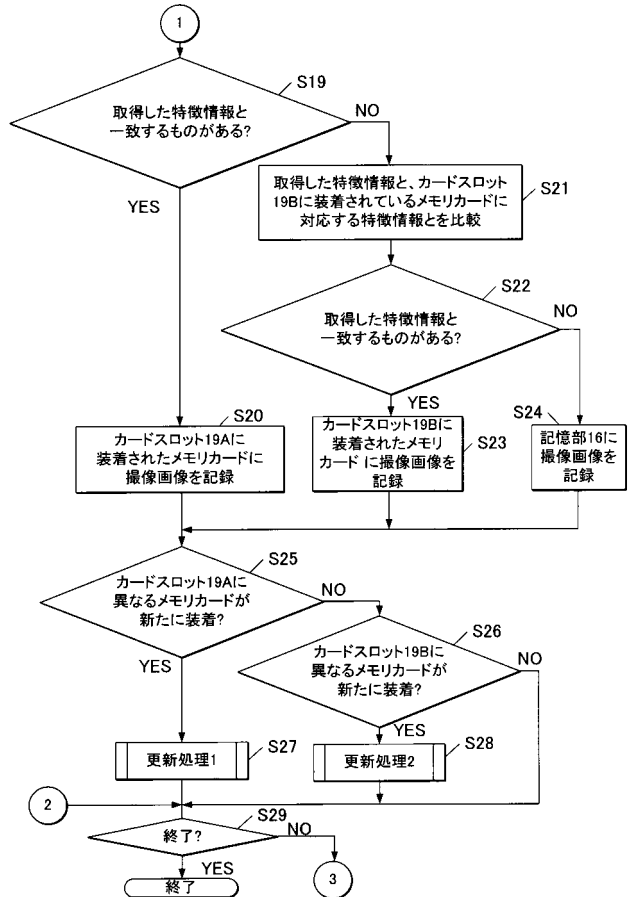
【図 2】



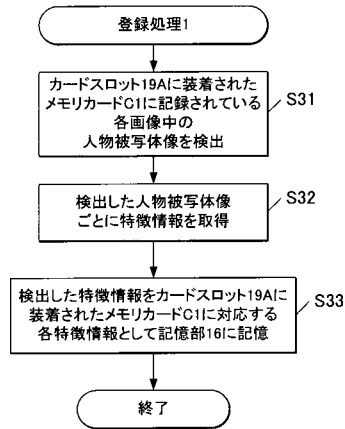
【図 3】



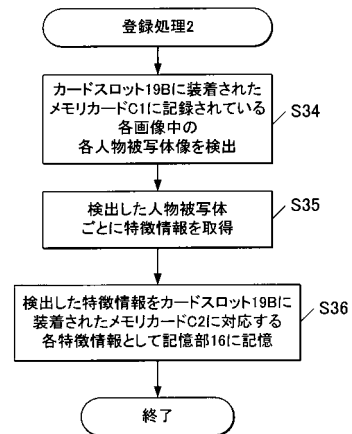
【図 4】



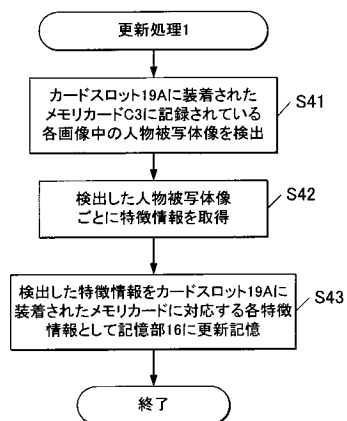
【図 5】



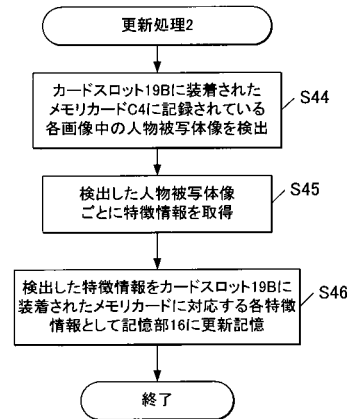
【図 6】



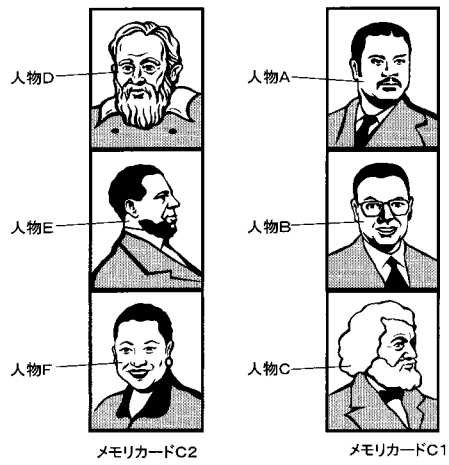
【図 7】



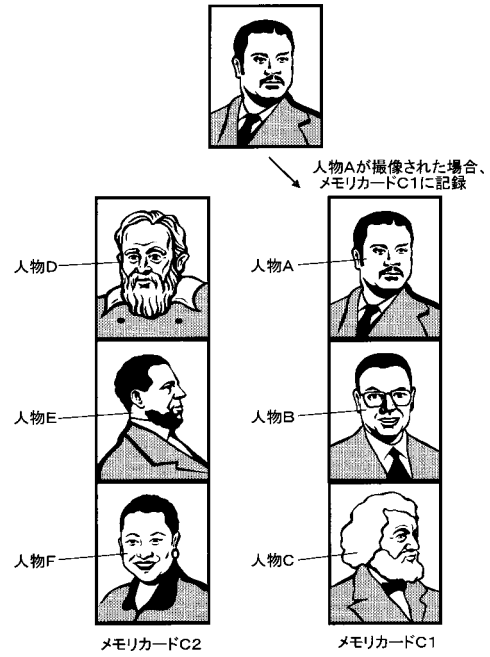
【図 8】



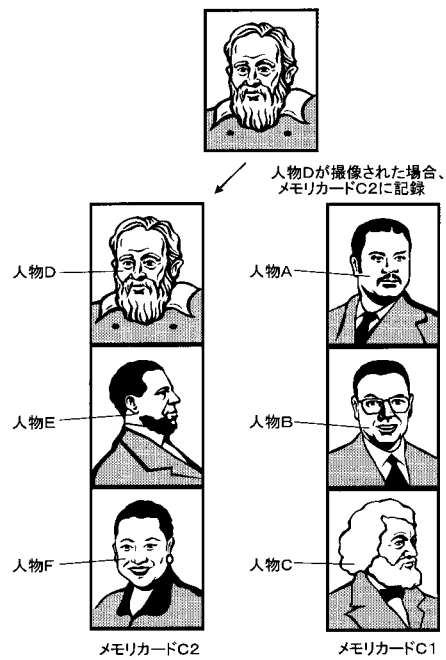
【図 9】



【図 10】



【図 11】



【図 12】

